

## 西海神小学校 4年生 河原佐帆さんのインタビュー全文

### • 海洋プラスチックごみ問題について研究しようと思ったきっかけは何ですか

三番瀬に小さいころから好きで行っていました。近所の方が環境団体に参加していて写真展開催の案内をもらったので、見に行きました。そこで野鳥の写真を見せてもらいましたが、マイクロプラスチックのことが書いてあり、興味を持ちました。その時に初めて海洋プラスチックごみについて知りました。



### • 気に入っているページはどこですか

一つは、実際に拾ったものを貼り付けたりクイズを載せたりしたポスターで、学校に掲示してもらいました。クラスの子たちは「すげー」と言っていました。もう一つは「実際にやってみました！」のページです。研究の中で自分がやったことが伝えられるからです。

### • 調査方法は どうやって考えましたか

お母さんに相談しながら作りました。お母さんも海洋プラスチックごみについては、一緒に写真展に行くまでは知らなかったです。

### • どのくらいの期間をかけて研究をしましたか

夏休みいっぱいです。

### • 研究した中でクラスの皆に知ってほしいことは何ですか

身の回りで出たごみが海に行って海洋プラスチックごみになります。みんなが水族館で見て知っているウミガメなどは、海でそれを飲み込んで死んでしまうので、命の大切さなどを知ってほしいです。

### • 研究する中で苦労したことは何ですか

ゴミ拾いは実際に行く必要があったため、コロナの影響で9月から閉鎖されてしまう場所もあり、限られた時間でやらなければいけなかったのが、大変でした。

コロナでなければ、ハワイなど世界の中で海洋プラスチックごみが多く見つかっている場所などに行ってみたかったです。

研究する中で、図書館で本を読んだりもしました。具体的にはいろいろな内容が紹介された本を3冊、海洋プラスチックごみの本を2冊です。

### • 研究を通して学んだこと・身に付いたことは何ですか

学校で使うリコーダーや食品用のトレーなど、プラスチックにはいろんな種類がありました。今まではごみを出す前提のリサイクルしか知らなかったのですが、リデュースやリユースを知る中で、プラスチック製品を使わない・ごみを出さないことが大切であることを知りました。

今は海洋プラスチックごみを出さないためにエコバックを使っています。

### • 今後取り組もうと思う海洋プラスチックごみ問題対策は何ですか

1、2年生の時は理科の授業に興味を持っていましたが、3年生での授業をきっかけに環境に興味を持ちました。3年生の時に学校でエコふなばし

が配られたので読みました。4年生になった今は社会の授業でゴミの利用や行方について学んでいます。5、6年生の自由研究では環境とかエコのこととかやりたいです。

- **エコふなばしをみんなに読んでもらうためにはどうしたら良いと思いますか**  
カニとか生きものとかが好きなので、そういった写真があると見てくれると思います。
- **児童に対して市はどのように海洋プラスチックごみ問題について啓発していけばいいと思いますか**  
市民へスタンプカードを作って配布して、ごみ拾いなどに参加したらスタンプを貯められて、エコ商品、エコバッグなどがもらえる仕組みなどがあったらやりたいと思うのではないのでしょうか。
- **研究後、海プラについて家族とどのような話をしますか**  
ニュースで海洋プラスチックごみを見ると「へー」とか「大変そうだね」と話題になります。また、友達にも三番瀬でのごみ拾いを提案したりしました。調査のきっかけとなった写真展に行った後、その日のうちに環境団体にも加入しました。

環境団体の写真展を見に行ったり、清掃活動に参加したりと、日々の生活の中で環境保全活動に取り組んでいる佐帆さん。私たちも、身近にできる環境保全活動を実践していきましょう！  
河原佐帆さん、ありがとうございました！

